



日本共産党 北区議会議員

# のの山けん 区政レポート

<http://ken-nonoyama.com/> [mail@ken-nonoyama.com](mailto:mail@ken-nonoyama.com)

No.616 2021.9.1

日本共産党北区議員団  
〒114-8508 王子本町1-15-22  
ご相談は **090-2156-3510**  
お気軽に

日本共産党北区議員団・そねはじめ都議が教育長に申し入れ

## 学校での感染防止対策強化を

デルタ株の拡大に伴い、これまで感染しにくいとされてきた子どもや親世代への新型コロナ感染が増加しています。

1日より区立小・中学校が再開となることから、日本共産党北区議員団は8月30日、そねはじめ都議会議員とともに、北区教育長へ「デルタ株拡大に伴い、子ども施設における新型コロナウイルス感染症対策の強化を求める申し入れ」を行いました。



清正教育長(右から2人目)に要請書を手渡す党区議団と、そねはじめ都議(左から2人目)▶

校は子どもたちにとって育振興部長からは、「学校は子どもたちにとって

申し入れでは、感染状況に応じて登校見合わせ、分散登校、オンライン授業などを柔軟に組み合わせ、感染防止のために登校せず自宅学習をする児童・生徒を欠席扱いしないこと、陽性者が出た場合に濃厚接触者を狭めず、実態に応じた広範なPCR検査を実施することなど9項目を要請しました。

清正教育長、小野村教育振興部長からは、「学校は子どもたちにとって

一番の安全安心の場所であり、学校を止めないことを基本として、1日から通常通りの学校再開としたい。要請を受け止め、保健所とも連携をとりながら感染防止対策に努めていきたい」との回答がありました。

申し入れにあたり、25日に日本共産党国会議員団文部科学部会が発表した「デルタ株による事態急変 学校の夏休み明けにあたっての緊急提案」を資料として手渡ししました。(のの山けん)

### 主な要請項目

- エアロゾル感染防止のため、短時間での全換気と不織布マスクの着用を重視
- 陽性者が出たら、濃厚接触者を狭めず広範にPCR検査を
- 教職員、保育士へ定期的なPCR検査の実施
- 感染症対策・発熱への対応へ、必要な人員・体制を確保する

全文は、日本共産党区議団ホームページよりご覧頂けます▶



# パートナーシップ制度 公契約条例

## 北区で実現に向け前進

北区は8月31日のプレスリリースで、パートナーシップ制度導入、公契約条例制定について準備・検討に入ることを明らかにしました。区民要望の実現に大きな前進です。(のの山けん)

### (仮称) 北区パートナーシップ宣誓制度導入に向けた準備を開始

パートナーシップ制度は、自治体が同性カップルを婚姻に相当する関係と公認する制度。23区内でもすでに多くの区が足を踏み出し、北区でも早期実現を求める声があがっています。

北区はプレスリリースで、2022年度からの実施をめざして具体的検討を開始し、制度の詳細が決まり次第、北区ホームページ、北区ニュース、ツイッターやフェイスブックなどSNSを活用した周知に努めていくとしています。



### (仮称) 北区公契約条例の制定に向けた検討を開始

公契約条例は、地方自治体が締結する契約等に関し基本方針を定め、適正な履行及び品質の確保を図ることで、地域経済の維持・発展、住民福祉の増進を図ることを目的とする条例です。現在までに、全国では60以上の自治体が、特別区では9区が制定しています。

北区は、議会で調査検討を進める陳情が全会一致で採択されたことを受け、制定に向けた具体的検討を始めるとしています。



## 少人数学級、一刻も早く実施を



少人数学級の早期実施を求める吉良よし子参院議員

8月27日、日本共産党の笠井亮衆院議員、吉良よし子参院議員が文部科学省に少人数学級を早期に実施するよう要請しました。私も、都内の衆院候補や地方議員、都民のみなさんとともに参加しました。

国は今年度から5年かけて小学校で段階的な35人学級を実施。要請では、「5年もかけずに前倒しでの実施を」、「中学校も35人学級に」などの要望が出され、文科省は「計画に基づいて着実に進めていきたい」などと回答しました。(のの山けん)